

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和6年 9月25日 開会 10時00分 閉会 13時22分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	多賀信祥	柳原英子
山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二
柳井一徳	惣台己吉	坊野公治	上野安是
西田久志	大滝文則	宮地俊則	佐藤豊

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 三宅文雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総合政策部長	安東慎吾
総務部長	藤原雅彦	市民生活部長	久安伸明
健康福祉部長	沖津幸弘	建設経済部長	岡本健治
水道部長	田中大三	会計管理者	高木正文
病院事務部長	津組勇一郎	監査委員事務局長	谷本充浩
総合政策部次長	岩本展到	総務部次長	片井啓介
市民生活部次長	朝原博幸	健康福祉部次長	岡崎祐一
建設経済部次長	中山浩一	水道部次長	曾根剛
財政課長	西本晴雄	美星振興課長	藤井義信
介護保険課長	森川正康	農林課長	馬越敏晴
建設課長	池田泰之	下水道課長	田口政之
病院総務課長	松山昌史	病院医事課長	吉田真介
健康福祉部参事	川上益史	上水道課業務係長	横山和徳
市民課戸籍住民係長	藤井宏美	建設課管理係長	妹尾洋典
教育長	伊藤祐二郎	教育次長	西村直樹
教育委員会参与	高田知樹	学校教育課長	米本大樹

生涯学習課長 田 中 稔 学校給食センター所長 立 花 計 志
教育総務課長補佐 岡 崎 直 子

(3) 事務局職員

事務局 長 和 田 広 志 次 長 成 智 千 恵

6. 傍聴者

(1) 一 般 0名

(2) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長(西田久志君) ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

本日は、昨日の続きの一般会計、特別会計、企業会計、財産区会計の決算認定案件を審査いたします。

〈歳 出〉

〈歳出第55款 教育費中、第10項教育総務費から第50項幼稚園費〉

委員(三宅孝之君) 235ページの委託料の生徒輸送業務委託料で芳井中学校分とおっしゃられました。これ、登下校の輸送でよろしかったでしょうか。

教育次長(西村直樹君) そのとおりでございます。

委員(三宅孝之君) とすれば、登下校分、この委託料というのは、人数によって毎年変化されるのか、それとも591万4,400円というのは毎年一定なのか、人数分で委託料は変わってくるのか、そのあたりを教えてください。

教育次長(西村直樹君) 生徒輸送業務委託料の金額につきましては、生徒の住所地によりまして経路等もございますので、人数とかによっても変わってくることになります。

委員(三宅孝之君) ちなみに、ごめんなさい、よく調べてなくてあれなんですけど、令和4年度はどうだったか、教えていただければ。

教育次長(西村直樹君) 令和4年度の生徒輸送業務委託料につきましては、金額は550万6,960円でございます。

委員(三宅孝之君) 令和4年度から令和5年度で増えている部分は、距離も長くなって、人数はどうか分かりませんが、少なくなってるかどうか分かりませんが、距離とかという部分で増加しているということよろしいでしょうか。

教育次長(西村直樹君) そのとおりでございます。

委員(荒木謙二君) タブレット端末、一般質問では、小学校、たしか、数字はちょっと

違うかもしれませんが、104台で、中学校94台、対応としては予備機等々で対応しとるというふうなことでしたが、需用費のほうで小学校が412万数千円、それから中学校が333万円というふうな金額が出とんですが、大体修繕には小学校は何台で中学校は何台かかってこの金額になってるのか、お教えてください。

教育次長（西村直樹君） タブレット端末の修繕台数でございますが、小学校につきましては102台、中学校につきましては90台分でございます。

委員（荒木謙二君） 予備機を使用してというふうなことになるかと、6台ぐらいしか予備機は使っていないということになるんですかね。

学校教育課長（米本大樹君） 全てを使っているわけではありませんで、来年度を中心に予備機をどんどん使っていこうということになっております。というのは、令和5年度の時点では更新の時期がまだ不明瞭な点が多かったので、そこまで積極的に予備機を使っているということはありませんでしたが、今年度もしくは来年度に関しましては、更新時期がある程度めどが立ったということなので、積極的に予備機のほうを使っていく予定でございます。

委員（佐藤 豊君） 237ページの中学校費で選手派遣費補助金というのは、岡山まで行く子供さんに補助するのか、基準とかというのは、中学校と高校でそれぞれどのような基準になっておるのでしょうか。

教育次長（西村直樹君） 選手派遣費補助金の補助対象者でございますが、こちらは中学校と市立高等学校の生徒でございます。

補助対象となる大会というものが定められておまして、補助対象の大会が中学校体育連盟とか全国高等学校定時制通信制教育振興会、また高等学校体育連盟主催の全国大会であったり中国大会、またこれに準ずるような大会というような対象の大会の区分がございます。

委員（佐藤 豊君） 県内の中学校の大会は、自己負担という形になるのでしょうか。

教育次長（西村直樹君） 失礼しました。県内の岡山県大会も、中学校体育連盟の主催の岡山県大会、これに準ずる大会も対象となっております。

委員（沖久教人君） 231ページ、小学校費の遊具点検委託料149万6,000円、昨年は128万3,700円という予算だったんですが、約20万円ぐらい上がった理由を教えてください。

教育次長（西村直樹君） 令和4年度までにつきましては、劣化の状況に要する点検委託料というようなことでございましたが、令和5年度からその劣化状況の点検に加えまして、配置であるとか構造上の危険の点検、そちらのほうを加えて点検のほうをさせていただいたため、金額のほうが上がっているところでございます。

委員（沖久教人君） 私も、県教育庁に行って確認をさせてもらいました。財務課それから保健体育課。委員会の中でもありました他市町の状況を聞いてまいりましたが、他市町からの情報は県のほうにも上がってない、各市町村のほうに任せられているというような現状の中で、井原市の状況をお話しさせてもらったんですけども、この構造点検を経て令和6年度の修繕作業完了見込みという、令和7年3月末というようなものも出ておりますので、理解しました。すいません。

委員（三宅孝之君） すいません。237ページの備品購入費の中の理科教育等設備費です。先ほど説明がありましたように、4校分とおっしゃられました。なぜ5校のうち4校なのか、公正公平な点からその辺をお聞かせいただきたいなと思います。

教育次長（西村直樹君） 残る1校につきましては、特に応募がなかったというところで、4校分ということになっております。

〈なし〉

〈歳出第55款 教育費中、第60項社会教育費〉

委員（沖久教人君） 251ページの美術館費の報酬なんですけども、短時間会計年度任用職員、これ、何人か、教えていただければと。

教育委員会参与（高田知樹君） 3名でございます。

委員（宮地俊則君） 253ページ、ふれあいセンター費なんですけども、ずっと以前からあったんですけども、備品購入費、先ほど図書費でDVDの購入という説明だったと思うんですけども、間違いはないですね。何巻でしょうか。

生涯学習課長（田中 稔君） DVDの購入は、おおむね3巻を人権に係るもので買っております。

委員（宮地俊則君） 3巻と言われました。

生涯学習課長（田中 稔君） はい。

委員（宮地俊則君） 3巻で22万5,720円ですと、DVD1巻が7万円強、高いと思われませんか。

生涯学習課長（田中 稔君） いずれも、人権に係る男女共同とかそういったところで制作されたDVDということになっておりまして、こちらのほうを毎年買わせていただいておりますので、通常の市販というのがあればなんですけれども、そちらのほうを利用しながら毎年購入をさせてもらっているところです。

委員（宮地俊則君） 随分昔というか以前になるんですけども、この点を指摘をさせていただいて、今後検討しますということで、1本のDVDが7万円ですよ。桁が1つ違うんじゃないかなと思うぐらいなんで、そこらあたり、もうこれ以上申しませんが、検討する余地はあるんじゃないかなと思いますので、しっかり研究してください。

委員（佐藤 豊君） すいません。図書費のところなんですけど、1,489万2,663円、小・中学校でしたら図書の充足率というのがあると思うんですけど、図書館には図書の充足率というのがあるんでしょうか。

生涯学習課長（田中 稔君） 申し訳ありません。充足率については、図書館は私のほうでは今手持ちにないので、あるないというのをはっきりと申し上げられないところでございます。

ただ、購入冊数とかは、毎年新しいものを買って、それから古いものを処分しているようなところで、蔵書数ということで井原図書館のほう3館合わせて数字は持っているところでございます。

委員長（西田久志君） いいですか、充足率は。

委員（佐藤 豊君） 分かりました。今言われた、新しいものを買うのと、それから古いものも処分してまた新しいものを買うというような話だったと思うんですけども。図書館には、これはなくてはならないという書物もあって、それが古くなったときには買換え、本の好きな人は、これは絶対図書館に必要だというような書物もあると思うんです。その場合は、同様の内容のものでしたらそういうものを新しくリニューアルするというのは、どういう基準でリニューアルをされておられたんですか、今まで。

生涯学習課長（田中 稔君） 図書の更新につきましては、一般の方、貸出しを利用されておられる方からのリクエスト、そういったものも当然ありますし、それから図書館の中に配置をいたしております図書、こちらについても一定の基準を設けて更新、処分をしておるところでございます。

先ほどおっしゃられました、図書館にはこれが必要だということは、図書館自体、図鑑とかそれから歴史的なもの、そういったものも井原図書館3館全て、一応配置をいたしておりますので、その中で古くなってきたものであれば、新しいものが手に入ればそれを更新する、それからそれに似たようなものが内容的にあればそれを更新するというような形で館の職員が対応しているところでございます。

委員（佐藤 豊君） 令和5年度に、これを中心に充足したい、充実したいとかというような思いでのジャンル、そういったことを選定して図書を購入したとかということはあるんでしょうか。

生涯学習課長（田中 稔君） 令和5年度につきましては、そこまでのものはございません。

ただ、今年度、内容が古いような指導書とかがあるというお声もありましたので、そういったもの、今風な指導内容のものも購入するように段取りをしているところでございます。

委員（西村慎次郎君） 充足率、いいですか。

委員（佐藤 豊君） はい、大丈夫。

委員（上野安是君） 図書館費の管理運営、総額で9, 100万円余りが計上されています。このうち、移動図書館に係る経費というのは分けて出せますか。

生涯学習課長（田中 稔君） すいません。手持ちにはその切り分けたものの集計結果のものは持ち合わせておりませんので、確認をさせていただきます。

委員（上野安是君） 多分、なかなかこれとこれとあれとって集計して行って、今いきなり言ったので、すぐに出てこないと思います。難しいんだと思うので、あえて質問したんですけど。当然、さくら号の車の管理とかもろもろ、それから当然、運転されてる方、それからその諸準備とかということがあったりもしますので、ざっくりということになると思うんですけど、今日の今日中には間に合わないかもしれませんが、その辺は統計というか取っていただいて、どっかのタイミングでさくら号はこれだけかかってますよというのを何かお示しいただきたいなっていうふうには思います。

さくら号からの貸出しの総数というのは今分かりますか。

生涯学習課長（田中 稔君） すいません。全体での貸出冊数は今手持ちとして把握をしておりますが、さくら号のみに限るものについては今あいにく手持ちの資料がございません。

委員（上野安是君） さくら号でどこそこに行って、そこでの貸出数というのは、多分パソコンとか何かでデータが取れますよね。それを結局、先ほどの費用と一緒になんですけど、集計したものがあれば、この9, 100万円余りのうちのこれだけがさくら号というか。私とすれば、さくら号をすごい大事してほしいなみたいなイメージもあって、このまま続けていくとしたときに、その効率と費用対効果というか、その辺も少し知りたかったので質問をさせていただきました。数字については多分すぐ出ないと思うので、構いません。

委員長（西田久志君） 後日。

委員（上野安是君） はい。

委員長（西田久志君） じゃあ、後日ということで、よろしくお願いします。

生涯学習課長（田中 稔君） 間に合えばと思いますので、もし間に合わなければ後日ということをお願いしたいと思います。

委員長（西田久志君） よろしくお願ひします。

委員（三宅孝之君） 245ページの委託料のふるさと井原の未来を創るひとづくり事業委託料です。令和5年度は1,220万円というふうなことだったんですが、令和4年度は920万1,064円でした。約300万円増えているんですが、その増えた事業というものはどこら辺が増えたのか、教えていただければと思います。

生涯学習課長（田中 稔君） ふるさと井原の今の委託料の増加した中身につきましては、令和5年度から家庭教育支援事業の増額とそれから子ども読書推進委員の事業、こちらをひとづくり事業の中に入れたことによりまして金額の増加となっております。

委員（三宅孝之君） 家庭教育支援事業、例えば具体的に何だったか、教えていただければ。

生涯学習課長（田中 稔君） 子育てネットワーク協議会においてお願いをしているところで、ライフ別ステージの子育て講座、幼児期、学童、そういった方々のサポーターの活動支援も含めて支援総合事業としてやっていただいているところでございます。

もう一つのところは、子ども読書は、読み聞かせボランティアなどのそういったところで活動いただいているものをひとづくりの中へ令和5年度から事業として入れております。

委員（三宅孝之君） 未来を創るひとづくり事業ということで、家庭教育支援事業、サポーターをここに入れられて、読み聞かせにしてもそうだとということなんですけども、その事業がタイトルどおりのことをされているかどうかというところ辺を疑問に思うんですけども、そういったところの300万円がサポーターや読み聞かせになったということに関しては納得しています。

〈なし〉

〈歳出第55款 教育費中、第70項保健体育費〉

委員（坊野公治君） 254ページ、保健体育費の次のページの井原文化・スポーツ振興協会補助金で、全国大会などに出場される選手に対する激励金があると思うんですが、その例えば個人、団体、あと大会別の基準を教えてくださいませんか。

教育委員会参与（高田知樹君） 基本的には、中国大会以上、あとは全国大会に出場される選手並びに団体に対してということで激励金を交付しております。

委員（坊野公治君） 具体的に金額は今分かりますか。

教育委員会参与（高田知樹君） 個人でありますと5千円ということになりまして、団体

ですと5万円ということになっております。

委員（坊野公治君） これは、中国大会でも全国大会でも一律ということで間違いないですか。

教育委員会参与（高田知樹君） そのとおりでございます。

委員（坊野公治君） 今までこれでやられていると思うんですが、中国大会はいいと思うんですけども、全国大会に出られる個人、団体に対して、他の市町とのこういった激励金というか、これがちょっと差があるのではないかというようなご意見もいただきましたけれども、これをまた金額を、例えば全国大会は遠方であれば交通費を出すとかそういったこともされてるところはあるんですが、そういったことをお考えになるということはできんのんですかね。

教育委員会参与（高田知樹君） まず、他市町村の状況を調べさせていただいて、検討が必要かどうかを考えさせていただきます。

委員（坊野公治君） あとそれと、去年だったかな、ソフトボールで世界大会へ行かれたとか、去年、今年とBMXで世界大会へ出られた子供さんがいらっしゃると思うんですが、そういった方に対する補助というか激励金というのは、今、中国大会、全国大会というふうな形になったんですけど、その人たちに対してはどういった形で支払われてるんでしょう。

教育委員会参与（高田知樹君） 世界大会等への出場に対しましては、スポーツ奨励賞というまた別な賞がございまして、そちらのほうで賞をお渡しをしているんですけども、それに対して激励金的なお金とかということはお渡しをしていなくて、賞状と盾ということでお渡しをさせていただいております。

委員（坊野公治君） できればそちらにもお考えいただきたいと思いますし、いつかまた井原から実際に子供さんでオリンピックへ出るとかそういったことがあればうれしいことではあるんですけども、そういったときにまた慌てないように事前に準備していただければと思います。

〈なし〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

教育次長（西村直樹君） 先ほどの、すいません、決算の内容で、体育施設費の中での激励金の金額につきまして、国際大会の金額のほうがございませぬということだったんですが、1万円ということでした。訂正しておわび申し上げます。

〈歳出第60款 災害復旧費〉

〈なし〉

〈歳出第65款 公債費から第80款 予備費〉

〈なし〉

〈歳出全般についての総括質疑〉

委員（山下憲雄君） 総括ということですので、不用額について13億8,700万円、全体、発生というか、やむなく生じる場合もあると思いますけれども。令和4年度が17億円ぐらいで、3億円から4億円ぐらい減少したと思うんですけれども。これが委託料とか負担金補助、交付金など、ある程度のルールによって計算化されたものであると、そこら辺にも不用額がたくさん出ているわけですが。

この不用額の13億円とか前年度が17億円とかというのは、もうこれはやむなしと思っているのか、それとも各部署では支出に当たって精査して予算を立てて補正を組んでされるわけですが、予算の立て方を精査したものの、これがいっぱいいっぱい、十分尽くしたんだと思っているのか、少し甘かったという点はないのか、そこら辺、見解をお聞かせください。

副市長（猪原慎太郎君） 予算を立てるときには、適正価格というものを算出をします。例えば、工事であれば、土木工事であれば標準の歩掛かりといったものである程度の積算ができます。あと、物品とか役務関係になりますと、なかなか積算ができないというものについては、複数業者の見積りを徴して、安いほうの金額で予算要求をするといったことで、予算段階では適正価格の算出に努めているところであります。その不用額が結果として13億円なり16億円なり出た、これにつきましては、競争入札、要は競争意識を働かせて、より安く仕入れるといったことの積み重ねで、結果として10億円を超える金額が不用額として出ているといった認識であります。

委員（山下憲雄君） それぞれ精査に精査を重ねて、予算の立て方にはそれぞれ各部門が努力されて、今のところ甘さとか曖昧さはないというふうに理解をしてよろしいでしょうか。

副市長（猪原慎太郎君） 予算段階では、精査をした上での適正価格の積み上げで要求をしてるというふうに認識をしております。

委員（山下憲雄君） お願いします。結構です。

〈なし〉

〈休憩〉

〈実質収支に関する調書及び財産に関する調書の説明〉

委員（上野安是君） 確認ですけど、今、物品の決算年度内の異動がないという説明を受けたんですけど、もう一度改めて説明してもらえますか。

財政課長（西本晴雄君） こちらのほう、全体として増減がないということで、上からいきますと、貨物自動車は1台の減、乗用自動車は2台の減、その代替の車両として軽自動車を取得したということで、車両全体としては増減がないという意味での説明でございます。

委員（山下憲雄君） 基金についてお伺いします。

基金の所有の実態というんですか、当座預金とかあるいは定期預金、また国債等の債権というものなりの所有の仕方があると思うんですけども、その辺の実態について、概要で結構ですからお聞かせください。

会計管理者（高木正文君） 基金の概要、構成についてのご質問であります。

定期預金、普通預金、それぞれで70%ほどを占めております。残りは債権ということになります。

定期預金の割合をできるだけ増やして、利息収入が極力確保できるような取組をいたしております。

委員（山下憲雄君） ありがとうございます。それで、それぞれの目的基金というんですか、特定目的基金みたいなものもあるわけですけども、それぞれ一括管理なのか、個別管理なのか、その辺は今の状況はどうなんでしょう。

会計管理者（高木正文君） 個別管理で管理しております。それぞれ通帳なりを作って管理しております。

委員（山下憲雄君） 幾ら低金利時代とはいえ、一括管理をしてローリングする基金の量というのはある程度想定がつくと思いますが、そこら辺を一括管理するというような検討等は今までになされたことはございませんか、また今後考えることはありますか。

会計管理者（高木正文君） 一括管理については、他の自治体等もされているところもありますので、そちらについてもこれからいろいろ研究をいたしてまいりたいと思っております。

委員（山下憲雄君） ぜひしてほしいと思うんですけども、億の金を一括管理しますと、金利だけでも0.01でも相当の、数千万円の運用効率が上がるケースもあると思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。

〈なし〉

〈一般会計全般についての総括質疑〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

委員長（西田久志君） 次に、特別会計、財産区会計及び企業会計の決算を審査いたします。審査の順序は、総務産業委員会関係分、厚生文教委員会関係分の順で審査を行いますので、よろしく願いいたします。

〈認定第5号 令和5年度井原市産業団地開発事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第6号 令和5年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第7号 令和5年度井原市大倉財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第8号 令和5年度井原市東水砂財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第9号 令和5年度井原市宇戸財産区会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第10号 令和5年度井原市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第12号 令和5年度井原市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 可決及び認定〉

〈認定第13号 令和5年度井原市下水道事業会計決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈休憩中、執行部説明員入替え〉

〈認定第2号 令和5年度井原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第3号 令和5年度井原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第4号 令和5年度井原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

〈認定第11号 令和5年度井原市病院事業会計決算について〉

〈歳入歳出全般〉

委員（山下憲雄君） 14、15ページのバランスシートについてお伺いします。

流動資産は、前期のときもお尋ねいたしましたけれども、今期、流動資産の合計が14億8,600万円、前期に比べて激減と言っているでしょう。減りました。

預金が5億700万円。これは前どれぐらいありましたかね。12億円ぐらいあったと思います。そういったようなことで、これが非常に減ったわけですが、流動負債のほうはほとんど変わりませんので、短期的な支払いパワーというのは幾らか資金繰りが厳しいという状況だというふうに理解しますけれども、まずこれが減った理由がどういうことになってる

のかをお伺いしたいと思います。

病院総務課長（松山昌史君） 決算書の27ページのキャッシュフロー計算書をごらんください。27ページ、この中の下のほうの4番の資金増減額、マイナス7億3,600万円ほどあるんですけど、これが前年に比べて減少した理由です。この中の主な理由というのが、減少した額なんですけど、主な理由というのが業務活動のキャッシュフローというところで、(11)番、未収金の増減額1億3,400万円とあるんですけど、これは一般会計からの繰入れを前年度は一部12月に行っていたものがあるんですけど、それが資金があるということで、翌年度に繰り越して収入するものとなっております。その分、未収金が増えたことによって現金が減ってるのが一つと、あと大きくもう一つが、2番の投資活動によるキャッシュフローの(2)の有価証券取得による支出が5億円、これが公社債を購入したことによって5億円、現金を支払ってます。それが大きな要因となっております。

委員（山下憲雄君） そういうことだろうと思うんですけども、14ページの先ほどのバランスシートですけども、投資有価証券で5億円上がってますけども、これも長期的な資産運用という観点から固定資産化されたと思うんですけども、その辺の大変すばらしい対応をされてるんじゃないかなと思うんですけども、このことについて経緯というか、今まで上げてなかったわけですけども、どういうことでこういう決心をされたのか、お願いします。

病院総務課長（松山昌史君） 令和4年度の決算時では購入してなかったのですが、令和3年度まで3億円の有価証券を保有していました。10年間の国債を保有していました。それが満期になって、資金運用を検討していたところで、令和4年度は固定資産、投資有価証券がなかったですけど、令和5年度の途中に購入して上がってるものです。そのとき3億円の有価証券を購入してたんですけど、現金預金の状況を見て、定期預金を取り崩して5億円、固定資産に預けても運用できるであろうと判断して5億円にしたものであります。

委員（山下憲雄君） ありがとうございます。非常にいい感じかなと思います。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 認定〉

委員長（西田久志君） 以上で付託案件の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、2日間にわたりまして慎重にご審議をいただきまして大変ありがとうございました。2つの補正予算、それから13会計の決算、全て認めていただきました。ありがとうございました。

本市におきましては、急激な少子・高齢化、それから人口減少問題といった喫緊の課題が山積をしております。さらには、働き手不足、それから物価高騰といったものも追い打ちをかけておりまして、行財政運営そのものがこれからどんどんどんどん厳しくなっていくことが予測をされているところであります。

そういった中におきましても、監査委員さんの決算審査意見書にもありますように、徹底した財源の確保、それからそれこそ歳出の縮減、経費節減をしっかりとそれに努めていきまして、持続可能な財政を確立していきたいと思っておりますので、引き続き皆様方にはよろしくお願いいたします。2日間、大変ありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（西田久志君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さん、ご苦労さまでした。